

基本理念

子どもとともに 大人とともに 地域とともに 広がる学びの輪

4つの目標

地域の特性を生かした多様な活動の推進

各地域でこれまで取り組まれてきた内容を踏まえ、地域と学校がそれぞれの役割を認識し、共通の目標に向かって対等な立場で連携して、一緒に活動していくことを目指します。

学校と地域、地域と地域のコーディネート機能の充実

地域の人や学校関係者との連絡・調整、地域ボランティアの確保が必要です。そのために、地域と学校の「橋渡し」の役割を担う地域学校協働活動推進員の発掘・養成を推進します。

大人と子どもの交流が盛んな地域づくり

現在学校で行われている活動にとどまることなく、子どもが地域のイベントに参加し、地域の大人との交流を図ります。子どもと大人が学校や地域でともに触れ合い、学び合う活動を通して地域の活性化を目指します。

継続的な活動が可能な組織づくり

地域学校協働本部を中心に、より多くの地域の人や団体の協力を得て、事業が推進できる仕組みをつくっていきます。地域や学校の実情や特色などを踏まえ事業を推進し、地域の教育力の充実や地域活性化を目指します。

地域とともにある学校を目指して

近年、地域でのつながりや支えあいの希薄化などによって、地域の教育力の低下、学校が解決を求められる課題の複雑化・困難化が進んでいます。そんな中、学校だけでなく「社会総がかり」で子どもたちを育む体制づくりが急務となっています。

本市では、未来を担う子どもたちを地域全体で育てていこうと、「地域学校協働本部推進事業」が始まりました。地域や学校で、子どもと大人の交流が盛んな地域づくりを目指し、「地域の宝」である子どもたちの健やかな成長を願い、地域と学校が一体となって事業に取り組んでいます。



子どもも大人も学び合い育ち合う教育を行うため、今までの地域と学校の繋がりを基本とし、より多くの幅広い層の地域住民、団体などが一緒になって、地域学校協働活動を行っていく体制のこと。今年度は「黒磯北中学校本部」「三島中学校本部」「塩原小中学校本部」が立ち上がり、平成33年度までに市内10地区に設置します。

※地域と学校が連携して、地域の高齢者、学生、PTA、NPO、民間企業、団体など幅広い人たちとともに、地域全体で子どもたちの成長を支え、地域を作っていく活動。



本部会議の様子



地域と学校の橋渡しを担う「地域学校協働活動推進員」

子どもたちが、学校や地域でさまざまな大人と交流できるよう、学校支援ボランティアをつなぎ、地域の個人や団体をつなぐコーディネーターとして活動しています。

子どもたちの成長には、地域の皆さんの協力が必要です。私たちと一緒に考え、ともに行動していきましょう。学校からボランティアの要請があったときは、ぜひご協力ください！

地域学校協働活動推進員の皆さん

(前列左)矢板展美さん、金沢久美子さん、西田由記子さん
(後列左)平山悟さん、松本忠太さん、遅澤一彦さん、
高根沢満さん

「地域と学校」の連携の様子



5月27日(日)に開催された東原地区コミュニティ運動会で、黒磯北中学校の生徒がボランティアとして参加し、地域の人たちの運営の協力をしました。



6月13日(水)に三島中学校区で「花いっぱい運動」が行われ、三島中学校の生徒が三島小学校、槻沢小学校、西小学校を訪問。地域の人と一緒に花を植えました。



7月11日(水)に塩原小中学校区で行う予定の「箒川リフレッシュ大作戦」。塩原小中学校の生徒が地域の人たちと一緒に、箒川沿岸の清掃をします。